

コーラルテックス施工要領（リフォーム～クロスの上から～ローラー仕上げ編）

ご用意いただくもの

- ☐ コーラルテックス
- ☐ 砂骨ローラー（推奨品 細目 6 インチ）
- ☐ ローラーフレーム
- ☐ ローラーバケット
- ☐ ひしゃく
- ☐ 霧吹き
- ☐ 養生テープ（推奨品 養生テープ 24mm 以上）
- ☐ マスカー（推奨品 マスカー 1100mm）
- ☐ ブルーシート
- ☐ 多用途シール（推奨品 コニシ「目地・すき間壁のひび割れに」）
- ☐ ヘラ
- ☐ 道具洗浄用ブラシ
- ☐ ヤニ止めシーラー

※アクの原因が残留してる可能性があるため使用します。

作業手順

クロスが古い場合は、剥がしてから施工することをおすすめします。

※クロスを剥がす場合、石膏ボードのジョイント処理が必要です。

剥がしたときに裏紙が残りますが水で湿らせて取り除いてください。

残った状態で塗布しますと、仕上がりに悪影響が出る可能性があります。



① クロスの洗浄

クロスのひどい汚れは、洗剤を使用してきれいにしてください。

特に油汚れは接着の妨げになりますので、十分に汚れを落と

してください。

② 養生

コーラルテックスがついては困るところを養生します。

床はマスカーで、その他は養生テープを使用します。

③ クロスの補修（必要に応じて）

クロスが乾いていることを確認してから、多用途シールを

使用してヘラでクロスの破れ、目地割れを補修してください。

また、クロスのジョイント部に多用途シールを擦りこんでください。

※ 推奨品（多用途シール）の上にもコーラルテックスは塗れます。

④ コーラルテックスの塗布【下塗り】

下地処理が乾いていることを確認してコーラルテックスを開封し、ひしゃくでバケットに移します。

（乾燥したカスや粉が入った場合は取り除きます。）

専用の砂骨ローラーをフレームに装着し、バケットに浸けて、コーラルテックスが落ちない程度にバケット内の網目で落とし、壁の隅から塗り始めます。

霧吹きで水が滴り落ちない程度に壁に付着したコーラルテックスに水を与え、砂骨ローラーで、模様と厚みが均一となるようによくのばします。（20kg缶に約1～2Lの水を加え、よく混ぜて頂いても結構です。水は水道水で結構ですが、市販の水や一度沸騰させた水を使用するとより保存が効きます。）壁一面が塗り終わるまで、塗った際が乾かないように霧吹きで水を与えながら、均一に仕上がるよう施工をしてください。

※ 細かい欠点は気にせずに大きな面としての美観を意識してください。

※ やや乾燥した箇所を補修する場合、霧吹きで水が垂れない程度に吹き付けて補修をしてください。

※ 施工後、乾燥を促すために十分な換気を行ってください。



⑤ シーラーの塗布

下塗りのコーラルテックスを十分に乾燥させた後、（1日以上を推奨します）

②の要領でもう一度養生を行います。

ヤニ止めシーラーを無希釈でウールローラーまたは、刷毛で全面に塗布します。

2時間以上／20℃の乾燥時間を取って塗って完全に乾かしてください。

⑦ コーラルテックスの塗布【上塗り】

④の要領で塗布をもう一度繰り返します。

以上